



わかば

2020. 9. 12
(令和2年) 第20-20号

文責 校長 保谷 力

ホームページ <http://www.shokookai.org/gakkou.htm> 毎週火曜日更新

教育目標 「帰国後、日本の教育に円滑に適応できるよう、日本の学校における学習指導要領に沿った国語、算数(数学)の学力の維持、併せて生活・生徒指導を行う。」

重点目標 一人一人の笑顔輝く学校づくり～期待登校・満足下校～

校長 保谷 力

オレゴン州の山火事の影響を受け、各地で停電、煙害など、未だに深刻な状況が続いています。子供たちの中には、既に他地区に避難しているというご家庭もあり、12日のオンライン授業を急遽中止いたしました。この煙霧の中には、私たちの体に有害である物質も含まれていますので、火災の類焼だけでなく煙を吸い込まないよう注意をお願いします。

9月より後期の授業が始まりました。先日もご報告しましたように、ヤマトさんの倉庫をお借りして、小学校教科書(下巻)の配布を無事終えることができました。これに合わせ、10月より、お伝えしておりました、時間割の変更が行われます。これは、オンライン授業期間の延長に伴い、これまでの緊急対応を見直し、子供たちの現状に合った学習環境を確保するものです。授業は子供たちの体力、集中力を考え、すべて午前授業とします。現在の授業時間数に比べ、少し長くなりますが、こまめに休憩時間等も確保しながら進めてまいりますので、どうぞ、ご理解・ご協力をお願い致します。詳細については、後日、事務局よりお便りが出されます。

4年生 夏の俳句づくり

◇ひこ星は いつもまってる 心の人

◇夏至の夜 足元てらす 道しるべ

◇じんべえを きておまつりに 行きますよ

◇美しく 夜空に光る 天の川

学年・学部	新学習時間
幼稚部	30+20= 50分
小学1～3年生	30×4=120分
小学4～中高等部	40×4=160分

新時間割(10月3日より施行)



◇短冊に コロナバイバイ 幸せに

◇むりをする やぐらにのるの おどれない

◇ゆかた着て おびをしめたら 夏祭り

◇ゆかただね きれいなもよう ピンク色

4年生は、この夏俳句に取り組んだようです。俳句は5・7・5の十七音の中に自分の思いや願いを綴る日本古来からの楽しみ方ですね。遠くアメリカに住む子供たちが、日本の夏を思い出し、各々が「ひねった」句です。短冊に「コロナバイバイ」と書かれているところなど、今の時世を反映しているのだと感じます。 校長

2年生 「スイミー」を勉強しての感想が届いています。



スイミーはかぞくとおよいでいた。とつぜん大きな魚がかぞくをたべた。スイミーしかのこらなかつた。
あたらしい友だちを見つけたスイミーは、こわがらずにみんなのでじゅうにおよげる方ほうを考えた。赤いみんなが大きな魚のふりをして、黒いスイミーが目になった。みんなでれんしゅうして大きな魚をおい出した。
わたしは、スイミーはあたまがよくて、心がつよくて、みんなのいい先生だと思いました。
二年一組 山村 あかり



わたしがスイミーですきだったところは、スイミーが小さな赤い魚たちに「大きい魚のふりをして」と言って「ぼくが目になるう」といったところです。スイミーだけからす貝よりも黒かったのに、はずかしがらず、そう言えたのが「すごいな!」と思いました。
わたしもこんどスイミーみたいに、はずかしがらずに、「いろいろやってみたいな」と思いました。
二年二組 小坂井優花



「スイミー」は広い海で暮らす魚のきょうだいたちのお話です。一匹だけまっくらで、名前はスイミーです。ある日、おそろしいまぐろが、きょうだいたちを一匹のこらすのみこんでしまいました。生きのこったのはスイミーだけ。だけど、まだ、いわがけに赤い魚のきょうだいを見つけました。スイミーは、どうやって小さな魚と遊べるかを考えました。このお話を読んで思ったことは、考えたらなんでもできるんだなでした。
二年三組 廣田真子